

日本の技術、暮らしを紡ぐ

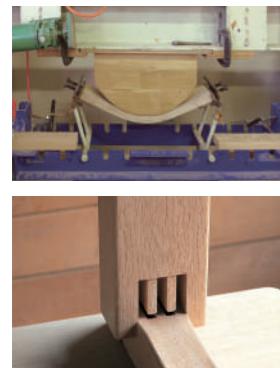
日本で古くから受け継がれてきた匠の技術は、人々の暮らしの変化とともに進化しながらもながく継承されています。

自然の力と人間の知恵から生まれた技術をちょっとだけご紹介します。

『藍染』は日本の文化と歴史に深く根ざしてきた伝統的な染色技法です。「ジャパンブルー」として世界に知られるその色は、古くから人々を魅了し、生活に彩りを添えてきました。藍染めの歴史は古く、飛鳥時代に中国から伝わったと言われています。当初は貴族の衣服を彩る高貴な色でしたが、時代とともに武士や庶民にも広がり、江戸時代には木綿、絹、麻など様々な素材を染めるようになり、暮らしの中の多くの場面で親しまれるようになりました。藍染めは、単一の青ではなく、淡い水色から濃い藍色まで多様な表情を見せます。また、使い込むほどに色合いが変化し、深みを増していく藍染めは、使う人とともに成長していく、そんな魅力を秘めています。この経年変化こそが、藍染めの大きな魅力の一つと言えるでしょう。

(生地：お取扱い上のお願い)

- ・ソファのクッションカバーを洗濯する際は、中性洗剤をご使用いただき、単独洗いをおすすめします。
- ・またタンブラー乾燥はお避けください。
- ・直射日光、蛍光灯の光に長時間あたると変色する場合があります。
- ・発汗や摩擦により、淡色の物に移染する場合があります。

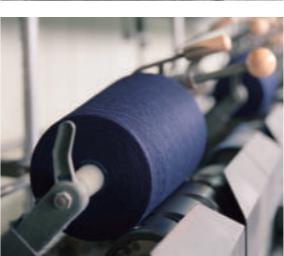


なら
『檜』の木は森の王様とも呼ばれる樹木。その名の通り、樹高は35メートル、直径1メートルにも達します。秋にはドングリの実をつけ、多くの動物たちにとって貴重な食糧となり、森の生態系の維持に貢献しています。木材としての檜は、重く硬く、加工が難しい素材ですが、世界的にも有名な家具用材の一つでもあり、またウイスキーの樽にも使われています。『木組み』とは釘やねじなどの金属を使わずに、木材に「継ぎ手」「仕口」という加工をして組み立てる日本の伝統的工法です。補修も可能で、木造建築物で世界最古といわれる法隆寺が有名です。『曲木』は、約180年前には確立されていた木材独自の技法です。木材を高温で蒸して柔らかくし、圧力をかけることで曲線に加工します。曲木は材料の強度を損なうことがなく、且つ材料を無駄なく使える利点もあります。

『漆』と聞くと「触るとかぶれる」というイメージがありますが、原因は主成分であるウルシオールの反応によるもので、漆が完全に乾いた後の商品であれば、かぶれる可能性はほとんどありません。漆は、漆の木の表面に傷をつけて樹液を採取します。ろ過し木の皮などを取り除いたモノを「生漆」と呼びます。基本的な漆は、透明な鉛色で「透漆」と呼ばれますが、鉄粉を混ぜ酸化作用によって「黒漆」が出来ます。顔料を加えて朱や緑といった「色漆」も作られます。木材に漆を塗ることで、木目が一層際立ち、工芸品としての豊かな表情が生まれます。自然由来の塗料である漆は、使い込むことで経年変化による風合いが増し、長く愛着を持ってお使いいただけるでしょう。また、塗り直しが可能なため、適切にお手入れを行うことで何十年にわたり美しさと機能性を維持できます。

(漆塗り家具：お取扱い上のお願い)

- ・冷暖房器具の近く、空調機器の吹き出しがでは使用しないでください。
- ・直射日光のある場所ではご使用しないでください。
- ・ソファのアームには直接熱いもの、濡れた物をのせないでください。
- ・木部が汚れたときは、かたくしほった布で拭いてください。
- ・化学ぞうきんや研磨剤などでこすると、塗装面を傷つけたり、塗装がはがれる恐れがありますので、使用しないでください。



日本の家具。
藍と檜と漆、

石見銀山
Iwamiginzan Gungendo
群言堂
×
Oak Village.



群言堂 × オークヴィレッジ コラボレーション

日本で古くから用いられ、現代でも広く愛される藍染の布。
日本の森で長い時間をかけて育った檜（ナラ）に漆。

石見銀山の地から「根のある暮らし」を提案し、
日本の古き良き技術や生活文化から学ぶものづくりを続ける群言堂。
そして、飛騨高山の地から「木」という素材を用いて、
それぞれの木が持つ表情を大切にしたものづくりを続けるオークヴィレッジ。

日本の素材と伝統にこだわりながら、時代に合わせて進化を続ける。
そんな二つの会社だからこそ実現した、想いと技の詰まった家具です。



オークヴィレッジ株式会社

〒506-0101 岐阜県高山市清見町牧ヶ洞 846
TEL : 0577-68-2229 FAX : 0577-68-2219
E-mail : customer@oakv.co.jp Web : www.oakv.co.jp

株式会社 石見銀山生活文化研究所 群言堂

〒694-0305 島根県大田市大森町ハ 183
TEL: 050-3503-1906 ※平日 10:00~17:00 (12:00~13:00 をのぞく)

※2025年11月現在

ゆるやかな弧を描くデザインで、空間における佇まいの美しさと、身体をあずける快適性を形にしました。「長く腰かけても疲れにくい椅子」を人間工学から研究し、広めの座面と曲木を駆使した笠木は、横を向いたり振り返ったりする姿勢の変化を柔軟に支えることができます。

コラボレーションSwallowチェア

藍染ツイード柄抜染:¥129,800(税込)

インディゴ唐草柄:¥124,300(税込)

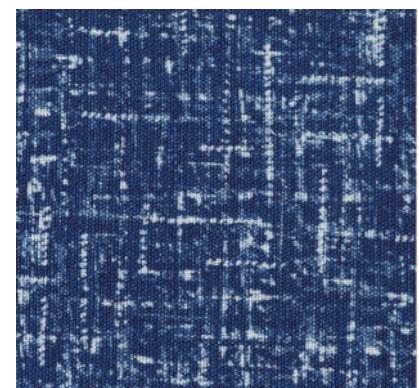
仕上げ:拭き漆塗、黒色拭き漆塗

材種:国産ナラ

サイズ:幅51.5×奥行46.7×高さ70.3(座面の高さ42)cm



拭き漆塗×藍染ツイード柄抜染



藍染ツイード柄抜染



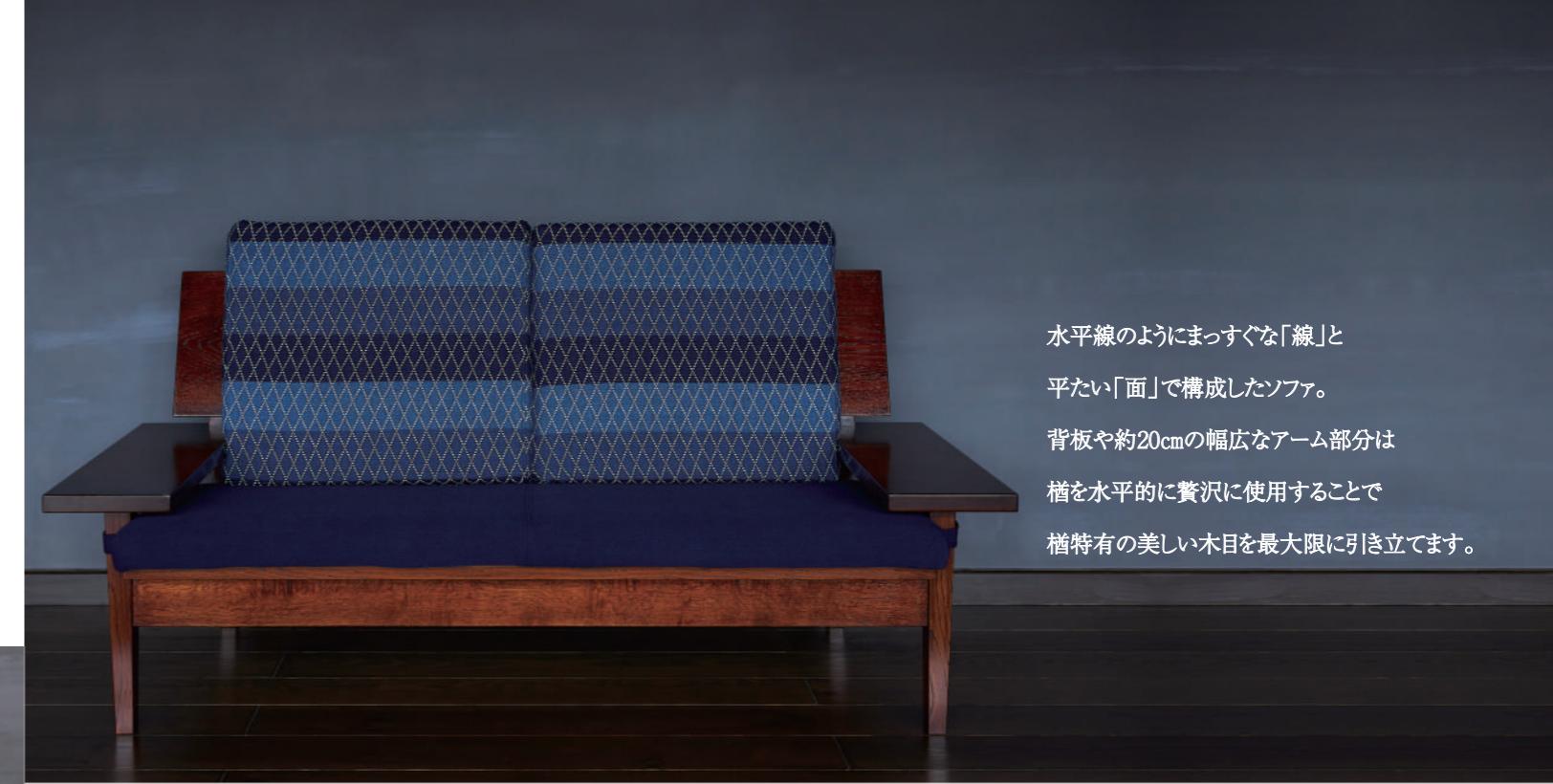
インディゴ唐草柄

タテ糸とヨコ糸にそれぞれ異なる色の糸を使用し織り上げることで、奥行きのある藍色を表現しています。さらに、手書きの柄を抜染という技法でプリントすることで、より複雑で味わい深い生地に仕上げました。和洋いざれの空間にもおすすめです。

デニムの産地福山で織られたインディゴ染めの生地です。織りで表現した縞柄と伝統的な唐草柄のジャガード織りが重なりあいます。



黒色拭き漆塗×藍染ツイード柄抜染



水平線のようにまっすぐな「線」と
平たい「面」で構成したソファ。
背板や約20cmの幅広なアーム部分は
檜を水平的に贅沢に使用することで
檜特有の美しい木目を最大限に引き立てます。

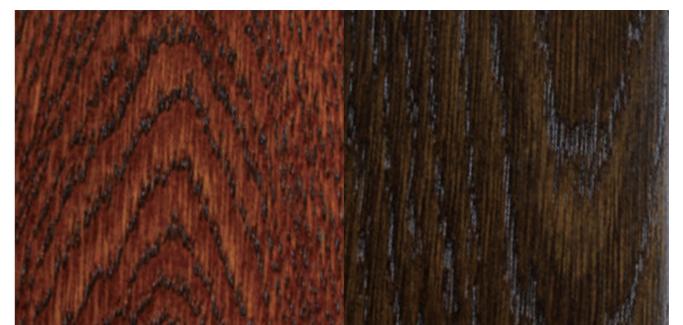
座面には剣道着の生地を織ることに長けた機屋さんが手掛けた丈夫な生地を使用しています。藍を何度も染め重ねることで生まれる深みのある色合いが魅力です。背面は伝統的な刺し子を織りで表現しています。濃淡の縞模様が織りなす
美しさは、まさに職人技です。

藍染



背面

座面



拭き漆塗

黒色拭き漆塗



背と座面のクッション材はこだわりの3層構造。1層目は綿のように柔らかく、2層目はもっちりとして体の形に合わせてゆっくりと変化し、3層目は硬めでしっかりと体重を支えます。座面の木枠には高反発のネットを張っており、お尻に不快な底付き感を与えません。



コラボレーションソファ
材種:国産ナラ
仕上げ:拭き漆塗/黒色拭き漆塗
クッション:布座



仕様	1人掛け	2人掛け	2.5人掛け	3人掛け
価格(税込)	¥456,500	¥583,000	¥671,000	¥726,000
幅×奥行×高さ(cm)	100×75×79	158×75×79	180×75×79	216×75×79



仕様	1人掛け	2人掛け	2.5人掛け	3人掛け
価格(税込)	¥456,500	¥583,000	¥671,000	¥726,000
幅×奥行×高さ(cm)	100×75×79	158×75×79	180×75×79	216×75×79